

その際に、本構想に対する秋田県の対応や藤里町の取り組みについて、その迅速さには敬意を表していただいたほか、秋田県の最上流部の町としての水を大切にしている取り組み等に非常に感銘されたようであり、同社の今後の研究拠点での事業成果に大きな期待を寄せると共に、アルビオン側の取り組みが藤里町にとって有益

先月の12月11日には、同社の小林草一社長が来秋され、佐竹秋田県知事と会談し、本構想の説明をしながら、秋田県からの協力要請を行ったところであり、その足で私のところにもご挨拶に来ていただきました。

藤里町としては、提示された事業概要などから、町の地域振興に大いに貢献するものであると判断し、旧米田保育園の施設を5年間貸付し、本構想の実現、推進のためにできる限りの協力をしたいと考えております。

白神山地のふもとである当町において、白神の植生を生かした化粧品の原料となる植物の委託栽培を行うほか、研究の拠点を設置して簡易な薬草・ハーブ等の自社植物園を作り、独自の新原料や美容成分の開発を進めようとするものです。

社名の『アルビオン』とは『白い国』を意味しており、白は女性の美の原点であるとの考え方から、理想を追求する名前として社名の由来ともなっており、まさに『白神』はそのイメージに即しているとのことで、藤里町が研究拠点の最有力候補地となったものです。

自然保護に貢献したいという打診が当町にありました。

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2,604万6千円を増額し、予算総額を36億4,478万7千円としました。

歳入について、地方交付税は、普通地方交付税の交付決定により増額の補正をしています。衛生費負担金は、火葬場や清掃センター負担金の確定により、運営費負担金を減額しています。農業使用料は、牛放牧料等の確定による増額の補正をしています。



◎大沢地区活動推進協議会を大沢会館の指定管理者に指定することについて

◎能代山本広域市町村圏組合から無償で譲渡を受けた広域藤里体育館を、平成22年4月1日から当町の財産として管理・運営するための、藤里町民体育館設置条例の制定について

主な議案内容

なものであつて欲しいと願いながら、相互の連携強化を話し合いました。

主な一般会計補正予算

(単位：千円)

歳入	
普通地方交付税	144,482
子育て応援特別手当交付金	△2,196
建設機械整備費補助金	△4,461
経済危機対策臨時交付金	△4,494
財政調整基金繰入金	△112,641
自立元気枠(町債)	5,400

歳出

地方税電子申告システム業務委託料	3,093
介護特会(介護給付費分)繰出金	15,330
子育て応援特別手当	△2,196
合併処理浄化槽特別会計繰出金(事業分)	1,029
除雪ドーザ購入費	△7,220
有害鳥獣用散弾銃等購入費助成金	383
急傾斜地公共事業費負担金	2,000
幼稚園バス購入費	△1,026
切り絵原画額縁代金助成	1,478
二の又川支流河川災害復旧応急工事	1,300

国庫支出金と県支出金は、各種事業の交付金額の決定や事業の清算により、増減の補正計上をしていますが、民生費国庫負担金に計上している、子育て応援特別手当とその事務取扱交付金については、事業の執行停止に伴い、皆減しています。また、国庫補助金では、除雪ドーザと地デジテレビ、幼稚園バス購入に関わる入札差額を減額しています。繰入金には、普通地方交付税の増額に伴う財政調整基金繰入金への繰戻し計上が主なものです。町債は、各種事業の事業費決定により、起債可能額の増減の補正です。なお、県貸付金の自立元気枠の増額は、米代線開設事業と急傾斜地崩壊対策事業負担金への充当が主なものです。

歳出については、総務費に人件費や経常的な経費の増減のほか、ふるさと納税記念品代や地方税電子申告システム業務委託料などを新規に計上。民生費には、介護特別会計繰出金の増額。

農林水産業費と商工費では、各種事業の事業確定や精算により、増減の補正。土木費の雪寒建設機械整備事業費では、除雪ドーザ購入に係る入札差額の減額、住宅防災対策費では、急傾斜地公共事業費負担金を新規に計上。教育費は、デジタルテレビ購入事業の清算のほか、平野さんの切り絵原画寄贈に関わる額縁代金の助成費を増額補正しています。災害復旧費では、二の又川支流河川災害復旧応急工事費の計上が主なものです。